

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児環境特論Ⅰ		専任教員	講義	2	前期
必修・選択	修了要件	必修			
	資格要件				
学習目標	保育場面における子どもの遊びや様々な環境とのかかわりに焦点を当て、考察を深めることを目標とする。また、本講義Ⅰ・Ⅱを通して季節の移り代わりを五感で感じ、体験することを通して幼児に適した自然に関する保育内容について検討する。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児を取り巻く環境とは	幼児を取り巻く環境の構造			
2	子どもの自然体験活動	ネイチャーゲームの目的と方法と内容について			
3	春の自然環境 (1)	春の自然と行事について			
4	春の自然環境 (2)	春の自然を体験する			
5	春の自然環境 (3)	春の自然体験活動を通して発見したことを分かち合う			
6	ネイチャーゲームの作成	幼児向けネイチャーゲームの試み			
7	幼児の環境とのかかわり (1)	子どもを取り巻く人的環境と子どもを捉える視点			
8	幼児の環境とのかかわり (2)	砂・水・泥とのかかわりと自然体験			
9	幼児の環境とのかかわり (3)	絵本・紙芝居とのかかわりと保育展開			
10	幼児の環境とのかかわり (4)	遊具とのかかわりとごっこ遊び			
11	夏の自然環境 (1)	夏の自然と行事について			
12	夏の自然環境 (2)	夏の自然を体験する			
13	夏の自然環境 (3)	夏の自然体験活動を通して発見したことを分かち合う			
14	事例研究 (1)	保育現場の環境構成			
15	事例研究 (2)	園環境と子どもを捉える視点			
参 考 書	柴崎正行・若月芳浩編『最新保育講座⑨保育内容「環境」』ミネルヴァ書房 2009 *他の参考書については、授業中に随時、紹介する。				
学習上の注意 (自己学習、学外学習など)	受け身ではなく、積極的な態度で臨むこと。都合が許す限り、戸外での自然観察や自然体験活動を行う。 自己学習・学外学習:エピソード記録と保育マップの作成。				
評価の方法と時期	主に、授業終了後提出のレポート課題(70%)、発表・提出物(30%)により総合的に評価する。				